

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2009
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.102, No.3 (2009. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20091001--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌

102 卷 3 号

2009 年 10 月

会長講演

協力ゲーム理論と経済学……………中山 幹夫 1

論 説

貨幣・所得・分配のマクロ経済理論 I

——IS-LM モデルの再構築——……………大山 道広 23

企業の国際化における企業異質性と市場特性……………田中 鮎夢 41
若杉 隆平

都市計画法の制定に関する一考察 (3)……………長谷川淳一 61

戦場の社会史——ビルマ戦線と拉孟守備隊

1944 年 6 月-9 月——(前編)……………遠藤 美幸 97

連合軍進駐後におけるドイツ警察の治安実践と住民感情

——ゲルゼンキルヒェン市警が「特記」した

外国人犯罪 (1945 年)——……………金田 敏昌 125

研究ノート

「続資治通鑑綱目講説」に見る山田方谷の思想

——その世子教育について——……………樋口 公啓 143

親衛隊保安部が描いた「若者像」——第二次世界大戦下

ナチス・ドイツの社会史への一考察——……………塚本 遼平 167

書評論文

戦争責任論から植民地責任論へ

——永原陽子編『「植民地責任」論-脱植民地化の

比較史』(青木書店, 2009 年)に寄せて——……………矢野 久 187

慶應義塾経済学会

